

製品名: C32 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07745**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	CKLF
別名	CKLF; CKLF1; HSPC224; Chemokine-like factor; C32
遺伝子 ID	51192.0
SwissProt ID	Q9UBR5
免疫原	ケモカイン様因子由来の合成ペプチド（アミノ酸範囲: 103-152）

背景

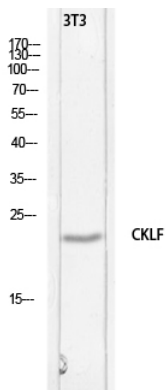
この遺伝子の産物はサイトカインです。サイトカインは免疫反応および炎症反応において重要な役割を果たす小さなタンパク質です。この遺伝子は、16 番染色体上のクラスターに位置する複数のケモカイン様因子遺伝子の 1 つです。この遺伝子によってコードさ

れるタンパク質は、好中球、単球、およびリンパ球に対する強力な走化性因子です。また、骨格筋細胞の増殖を刺激することもあります。このタンパク質は、炎症および骨格筋の再生において重要な役割を果たす可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。この遺伝子座と隣接遺伝子座 CMTM1 (CKLF 様 MARVEL 膜貫通ドメイン1を含む)の間では、自然にリードスルー転写が起こる。[RefSeq 提供、2011年2月]機能: アイソフォーム CKLF1 は、ラットの単球、好中球、リンパ球で走化性反応を示す。機能: 骨格筋の炎症と再生に重要な役割を果たす可能性がある。インターロイキン10によって部分的に阻害される。類似性: ケモカイン様因子ファミリーに属する。類似性: 1つの MARVEL ドメインを含む。組織特異性: 4つのアイソフォームはすべて、成体の脾臓、肺、精巣、卵巣、末梢血白血球、胎盤、膵臓、胎児の脳、骨格筋、胸腺、心臓で最も高い発現レベルを示す。成人の骨格筋、肝臓、胸腺、結腸、前立腺、胎児の脾臓および肝臓では発現レベルが低い。

研究分野

-

画像データ



CKLF 抗体を用いた 3T3 溶解のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。